



かけはし



「よく遊び よく学び 心を育む」

～ 挨拶する心 思いやりの心 感謝の心 ～

校長 藤谷 真一

校庭の桜が美しく、道行く方が足を止め眺めています。実にのどかな春のひとコマが穏やかな気持ちにさせてくれます。

昨日、59名の一年生を迎え入れ、全校児童399名でスタートしました。令和6年度も「よく遊び よく学び 心を育む」を学校経営の基本理念として掲げました。小学生にとり「遊び」は、コミュニケーション能力の向上、人間関係づくり、社会性、我慢する力(耐性)、体力の向上等よりよい成長のために重要な要素となります。また、「学び」については、学ぶ意欲さえあれば一生学び続けることができます。学年に応じて、身に付けるべき内容はありますが、最も大切なことは、学ぼうとする心に灯をともしことです。子供たちにとって意欲が湧き起こる「楽しく、わかる授業」が展開できるように努めて参ります。そして、今年度も「心」の育成、特に「挨拶する心」「思いやりの心」「感謝の心」の具現化を図っていきたいと考えています。

私たち大人の大きな役目は、未来をつくる子供たちを育てることです。「幸せな子供」を育てるのではなく、どんな境遇でも「幸せになれる子供」を育てることです。子供を育てる営みは、学校だけでも、家庭だけでもできません。子供を取り巻く環境が一体となって育てていくことが大切です。今後ともご家庭と地域と学校が連携しながら教育活動を展開したいと考えております。子育てのこと、学校教育のこと等気になることがありましたら、どうぞ学校にご連絡ください。またはお越しくください。令和6年度もどうぞよろしくお願いいたします。



「感謝」～ 子供たちのためにありがとうございます ～

今年度も、子供たちの「命」を守るために貴重な朝のお時間を割き、立哨、見守り、言葉掛け等に心から感謝申し上げます。4月は子供たちの交通事故が多発する時期です。お子様への毎日の言葉掛けをお願いいたします。また、保護者の皆様も立哨する折、十分にご注意ください。